



**奉納された鯰絵**  
—宮原瑞雄氏—  
阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>



平成17年11月1日  
第38号

発行所  
阿蘇神社社務所  
多良見町化屋名862  
☎ 0957-43-5235

## 神社と鯰

阿蘇神社

宮司大島大明

神社には神様のお使いをする動物があります。「神使」といい、大切に扱われています。著名なものでは「稻荷神社のキツネ」「八幡神社のハト」「熊野神社のカラス」などがあります。阿蘇神社の場合はこのような「神使」とは性格が若干異なりますが、鯰が縁深いものとされています。嘗ては神社の第一鳥居の前方(現在の国道の中央付近)に池があり、ナマズ池と称されました。阿蘇神社の氏子は鯰を

釣り上げても決して殺生を行わず、池に放し大切にしていました。阿蘇神社を鯰権現と称した時代もあるほどで、阿蘇神社と鯰の関係は大きく、大切なものとされています。

熊本県一ノ宮の阿蘇神社に伝わる「ナマズの話」が基本となっていますので、全国の阿蘇神社でも同様に鯰を大切に扱っています。

今般鯰の絵が奉納されました。

拝殿内に掲げてありますので、参

拝の折りに是非ご覧下さい。

### 敬神生活の網領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの網領をかけて向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむづび和らぎ、  
國の隆昌と世界の共存共榮とを祈ること

# 喜々津くんち

## 御神輿の渡御を斎行！

—喜々津くんち—

十月二十三日(日曜日)の日程

◎午前九時 関係者集合

—更衣をして神輿を出し、祭

典の準備—

◎午前十時二十分 遷輿式

—神様を御神輿にお遷しする

お祭りです—

◎引き続き 本殿発御祭

—本社を出発し、第一鳥居内

へ仮安置—

◎化屋名浮立の奉納 於 境内

を受けける—

◎午前十一時 本社発御

—第一鳥居をくぐり本社を出

発。喜々津商店街を通つて

支所前へ。ふるさと祭りの

会場を廻つて御旅所へ—

◎正午 御旅所着

—御旅所を出発し、報

告するお祭り—

★御旅所では御神酒を参拝者に振る舞いました。



—鳥居をくぐって出発—

◎午後三時 御旅所発御祭

—御旅所から本社に帰ることを告げるお祭り—

◎引き続き 御旅所発御

—御旅所を出発し、体育セン

ターの交差点を右折し、

第一鳥居をくぐり、本社に

還りました—

◎午後三時半 本社着

—本社に帰り着いたお祭り

で、神様を御神輿から御本

殿にお遷しいたします—

◎引き続き 御神輿他格納

—神輿奉仕者の代表の発声に

より手締めを行いました—

—第一鳥居をくぐり本社を出

発。喜々津商店街を通つて

支所前へ。ふるさと祭りの

会場を廻つて御旅所へ—

—御旅所を出発し、報

告するお祭り—

—御旅所では御神酒を参拝者に振る舞いました。

神社の御神輿の渡御(喜々津くんち)が行われました。午前十一時鳥居をくぐつて出発。先導は総代が羽織袴の正装で奉仕、阿蘇神社の社名旗・太鼓・五色旗が続き、その後御神体を載せた御神輿が、氏子中の青年達に担がれて、肅々と進みました。

本年は「化屋名浮立」も御神輿の行列に続いて進み、昨年とは異なり晴れやかな御神輿の渡御となりました。

秋晴れの十月二十三日、阿蘇神社の御神輿の渡御(喜々津くんち)が行われました。午前十一時鳥居をくぐつて出発。先導は総代が羽織袴の正装で奉仕、阿蘇神社の社名旗・太鼓・五色旗が続き、その後御神体を載せた御神輿が、氏子中の青年達に担がれて、肅々と進みました。

- ◎午前十時二十分 遷輿式
- 神様を御神輿にお遷しする
- お祭りです—
- ◎引き続き 本殿発御祭
- 本社を出発し、第一鳥居内
- へ仮安置—
- ◎化屋名浮立の奉納 於 境内
- を受けける—
- ◎午前十一時 本社発御
- 第一鳥居をくぐり本社を出
- 発。喜々津商店街を通つて
- 支所前へ。ふるさと祭りの
- 会場を廻つて御旅所へ—
- 御旅所を出発し、報
- 告するお祭り—
- 御旅所では御神酒を参拝者に振る舞いました。



—ふるさと祭りの会場を巡幸—

神社では昨年神社総代を中心に各種団体にも呼び掛け、「阿蘇神社おくんち奉賛会」を立ち上げました。しかし乍ら小規模の組織の為、神社総代が協賛金の募金活動・御神輿担ぎの人員の確保など、分担して受け持つこととなりました。総代各位にご慰労を申し上げたいと思います。



—神社に還り着いた御神輿—

# 平成十七年 例大祭を終了!!

去る十月十五日、阿蘇神社の例大祭が斎行されました。

例大祭(例祭)は神社が熊本の御本社・阿蘇神社より御分靈を受け喜々津の鎮守として祀られた記念すべき日を祝うお祭りであり、今年は御鎮座四七二年となります。

当日は定刻、宮司以下祭員が参進、御本殿の御扉を開き、神饌とともに神社本庁よりの幣帛料も神前に供えられました。宮司が御神徳の感謝と更なる御加護の祈願を籠めた祝詞を奏上、巫女の神楽舞の奉納の後、宮司以下参列者の代表が玉串を捧げ拝礼をしました。

—巫女による神楽舞奉納—



☆ 献酒☆  
十八銀行多良見町支店長・藤田好宣、親和銀行多良見支店長・帶田英俊、たちばな信用金庫多良見支店長・石丸裕一 以上



—浮立の奉納を受ける宮司と役員—



## 化屋名浮立の奉納

御神輿の出発前、境内で「化屋名浮立」奉納がありました。

祭典終了後場所を社務所に移して直会を催しました。

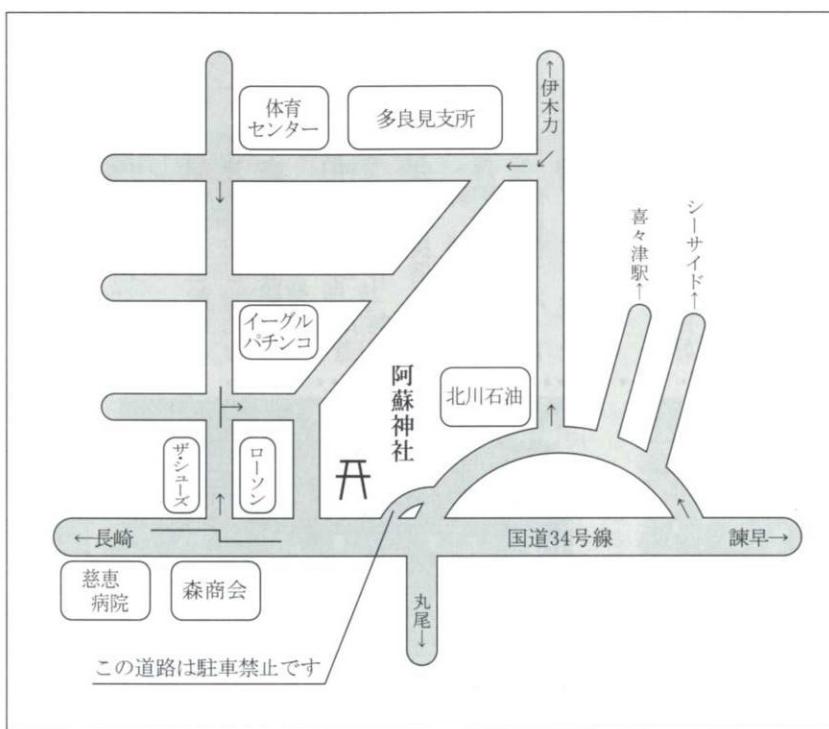
例大祭に際し左記の通りご献納を賜りました。ご芳名を記しお札を申し上げます。《頗不同・敬称略》

☆初穂料☆

時津・祐徳稻荷神社 宮司 尾道勝美、松本淳、北島守幸、森開発・森強、誠会・相良信義、本田義光、森商會・森誠司、荒木隆、古賀春生、浜松隆明、峯達也、山口安博、前田信太郎、吉野徹、松尾龍義、宮嶋泉、松尾清人 以上

# 七五三詣は阿蘇神社へ!!

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女児七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。



平成十七年の七五三祝  
男女七五三歳  
平成十五年生  
平成十三年生  
平成十一年生

◆十一月十二日(土曜日)、十三日  
(日曜日)、十五日(火曜日)は終日  
七五三を受け付けます。  
これ以外の日にご参拝予定の方に  
は、出張祭典などで留守をするこ  
ともござりますので、お手数なが  
ら事前に連絡をお願いいたします。

■総代会便り ■

神社総代及び今年度の総代会の  
監事が交代しました。

◆総代異動 五月一日付

総代退任

西川内 森伸一郎 殿

総代新任 西川内 松尾龍義 殿

◆総代会監事異動 五月二十七日に行催された評議  
員会で今年度の監事は左記の通り  
決定いたしました。

監事新任

西川内 井樋ノ尾 一、鯰の絵  
奉納御礼 ◆ 木床 一、同絵皿  
一、御旅所へ饅頭百箱 本田義光 氏  
あづまや本店 薩山嶋雄殿 宮原瑞雄殿  
古賀春生殿

■編集後記 ■

今年の「おくんち」は化屋名浮  
流が加わり、素晴らしい行列にな  
りました。六月に阿蘇神社のホー  
ムペイジを開設しました。ご一覧  
下さい。▼日ごと肌寒くなつてしま  
りました。ご自愛専一にお過ごし  
下さい。